

広報 しょうぼう

2026

No.51

令和8年3月1日

【今年の表紙】

長野県消防防災航空隊との実機連携訓練(上)、長野県千曲警察署との水難救助合同訓練(下)を行ない、他機関との連携強化を図るとともに、部隊活動の向上に努めました。

令和8年2月1日現在

	人口	世帯数
千曲市	58,489	25,006
坂城町	13,568	6,160
合計	72,057人	31,166世帯

管内の人口と世帯

発行：千曲坂城消防本部 長野県千曲市大字磯部1221番地
編集：消防本部 総務課
電話：026-276-0119 (代) FAX：026-276-9119
E-mail：chikumasakaki@fdcs.or.jp



管理者あいつつ



管理者 小川 修一

地域の皆様におかれましては、日頃より消防行政の円滑な推進に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は世界規模で地震、豪雨、洪水、台風、山林火災といった異なる種類の災害が同時に発生し、気候変動、地殻変動の影響を大いに受け、広範囲かつ長期を費やす甚大な被害をもたらしました。

日本国内にあっても、多種多様な災害が発生し改めて我が国が多くの人々の災害リスクを抱える国土であることを強く認識する一年となりました。その中でも大分県大分市において発生した大規模火災では、焼損棟数が180棟を超える非常に大きな被害を受け、今なお日常生活を取り戻せない方々が数多くおられます。被災された皆様へのお見舞いと、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

この火災は、住宅密集地という立地条件及び気象条件が重なり延焼

拡大したもので、管内においても発生が懸念される災害で、消防機関には火災を発生させない防災力の向上、発生時に迅速かつ的確な対応を行うための防災力の向上などが期待されていることを痛感しております。

消防業務にあつては、火災の多様化、自然災害の増加かつ大規模化、また、超高齢化社会に伴う救急出動の増加など多岐にわたるため、皆様の期待に応えるべく、更なる防災力の向上を図るための取り組みを進めており、今年度は、屈折はしご付消防ポンプ自動車更新事業、高規格救急自動車更新事業を行い、皆様の大切な生命身体、財産を守るために全力で職務に尽くす所存であります。

災害の激甚化・複雑化が進む昨今では、当組合にとつても多様な対応が求められることから、発生した災害を通じて得られた教訓を、今後の防災・減災活動に活かしていくことが重要です。私たちは、地域の皆様と手を取り合いながら、より安全で安心して暮らせるまちをつくるため、日々努力してまいります。

結びに、これからも安心・安全そして災害に強いまちづくりのために、皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

消防長あいつつ



消防長 田中 英春

地域の皆様には、平素から消防行政並びに火災予防に対し、格別のご理解とご協力を賜わり、心から感謝申し上げます。

さて、令和7年2月26日に岩手県大船渡市で発生しました林野火災をはじめ、長野県上田市、愛媛県、岡山県など全国各地で林野火災が発生し、大きな被害をもたらしました。

この岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災を受けて、令和8年1月1日から林野火災の予防を目的とした林野火災注意報・警報の運用が始まりました。内容としては、林野火災の予防上、注意や危険を要する気象状況になった際には、「林野火災注意報」や「林野火災警報」を発令し、火災予防条例に定める「火の使用の制限」を実施します。林野火災の発生原因としましては、たき火、野焼き、火入れなど、屋外焼却による人為的な要因が大半を占めています。発令された際には、地域の

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

その他の令和7年中の災害については、4月には長野県北部を震源とする震度5弱の地震、8月には熊本県において線状降水帯による水害、11月には大分県大分市において、木造密集地における火災、12月には青森県東方沖を震源とする地震が発生し、多くの尊い命や財産が失われ、改めて防災対策の重要性を認識した1年でした。

近年、激甚化する自然災害、増大する救急需要、大規模複雑化する対象物など、絶えず社会は変化を続けています。

こうした状況下、消防本部といたしましては、防火対象物等及び住宅の防火安全対策の推進、一人でも多くの命を救うため救急体制の強化、あらゆる災害への消防活動能力の向上に努めて参ります。

私たちは、地域住民の命と暮らしを守り、住む人、訪れる人が、安全で安心できる地域づくりの実現に向け、職員が一丸となって職務に精励し、皆様の負託に応えられるよう、全力を尽くして参りますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



「大規模災害時における宿泊施設の使用に関する協定」を締結



協定書調印の様子



戸倉上山田温泉旅館組合連合 高野和也 会長(左)
と千曲坂城消防組合 小川修一 管理者(右)

令和7年12月3日(水)千曲市役所において戸倉上山田温泉旅館組合連合と「大規模災害時における宿泊施設の使用に関する協定締結式」を行いました。

この協定は、千曲市及び坂城町で大規模(局地)災害が発生し、緊急消防援助隊等の応援隊を受入れる際に、必要に応じて応援隊が宿泊施設の使用を円滑に行えるよう、その手続き等を定めています。

この協定により、当消防本部の受援体制強化と応援隊員の負担軽減が期待されます。

令和7年度消防組合議員

坂城町議会議員構成が変わり、令和7年5月20日、同議会臨時会において、当消防組合議会議員として3名が選出されました。

なお、現在の消防組合議会議員及び監査委員は左記のとおりです。

議長	長 和田 英幸(千曲市)
副議長	朝倉 国勝(坂城町)
議員	川嶋 敬信(千曲市)
議員	北川原 晃(千曲市)
議員	坂口 吉一(千曲市)
議員	滝沢 清人(千曲市)
議員	田中 秀樹(千曲市)
議員	中村 眞一(千曲市)
議員	中村 恒彦(千曲市)
議員	林 慶太郎(千曲市)
議員	塚田 舞(坂城町)
議員	宮入 健誠(坂城町)
監査委員	春日 一幸(識見者)
監査委員	滝沢 清人(議会議員)

第45回 危険業務従事者叙勲

久保 廣康氏

瑞宝単光章を受章

第45回危険業務従事者叙勲において、当消防本部元消防司令長の久保氏(千曲市)が瑞宝単光章を受賞されました。

久保廣康氏は昭和49年4月に旧更埴市消防本部にて消防吏員を拝命。予防業務に広く精通し、約42年間にわたり住民の生命、身体及び財産を災害から保護するという消防の使命に精進し、また消防本部の発展にご尽力されました。



久保氏(左) 小川市長とともに

令和6年度 職員の給与と勤務状況を公表

「千曲坂城消防組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、人事行政の公平性と透明性の確保を目的に、職員の人事行政の運営状況の概略を公表します。

1 年齢別職員構成の状況

《令和6年4月1日現在》

年齢	18～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56以上	計
人数	10	15	20	14	13	16	9	7	104人

2 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況《令和6年度決算額》

※人件費に児童手当は含まず

管内人口(R6.4.1)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費比率(B/A)
71,647人	13億9,477万7,809円	4,931万9,448円	8億3,128万2,725円	59.6%

(2) 給与費の状況《令和6年度決算額》

職員数 (A)	給 与 費				1人当たりの給与費 (B/A)
	給与	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
104人	3億8,811万3,012円	8,690万4,205円	1億6,046万5,960円	6億3,548万3,177円	611万415円

(3) 平均給料月額・平均給与月額・平均年齢の状況《令和6年4月1日現在》

職員数	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
104人	31万1,154円	36万2,890円	38.8歳

(4) 初任給の状況《令和6年4月1日現在》

区分		消防組合	県	国
一般行政職	大学卒業者	21万3,600円	23万500円	22万円
	高校卒業者	18万8,000円	19万8,700円	18万8,000円

(5) 級別職員数の状況《令和6年4月1日現在》

※構成比は小数点以下四捨五入

級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
職	主事	主任	主査	係長	課長補佐・副署長・主幹	次長・副参事・署課長	消防長	
階級	副士長・消防士	司令補・士長・副士長	司令・司令補	司令	司令	司令長	消防監	
職員数	13	31	23	21	8	7	1	104人
構成比	12.5%	29.8%	22.1%	20.2%	7.7%	6.7%	1.0%	100%

(6) 期末手当・勤勉手当《令和6年度》

※職制上の段階、職務の級等による加算措置有り

区 分	消防組合		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.225月分	1.025月分	1.225月分	1.025月分
12月期	1.275月分	1.075月分	1.275月分	1.075月分
合 計	2.50月分	2.10月分	2.50月分	2.10月分

(7) 退職に係る手当《令和6年4月1日現在》

区 分	勤続20年(月分)	勤続25年(月分)	勤続35年(月分)	最高限度額(月分)
消防組合	24.586875	33.27075	47.709	47.709
国	24.586875	33.27075	47.709	47.709
加算措置	定年前早期退職特例措置 2～45%加算			

(8) その他の手当《令和6年4月1日現在》

区 分	内 容			
扶 養 手 当	① 配偶者 6,500円 ② ①以外の扶養親族: 子 10,000円/父母等 6,500円* 子については特定期間加算有り: 5,000円			
住 居 手 当	賃借等により: 18人 支給なし～最高 27,000円			
通 勤 手 当	距離、通勤方法等により: 94人 支給なし～最高 10,000円			
管理職手当	主幹 35,600円～消防長 61,900円: 16人			
特 殊 勤 務 手 当	災 害 活 動	400円/回	特 殊 活 動	500円～1,000円/回
	救 急 活 動	①救急救命士: 500円/回 上 記 以 外: 400円/回	夜 勤	500円/1勤務
		②特 定 行 為: 700円/回	航空機搭乗活動 緊急消防援助隊活動	2,000円/日

第46回防火ポスター展

今年度も児童等の防火意識の高揚と火災予防思想の普及を図ることを目的に「第46回防火ポスター展」が開催され、管内の幼稚園・保育園と小学校から合計225点もの作品が出品されました。

審査会では丁寧な色彩の作品や心に残る標語など力作が数多く、審査員は皆一様に頭を悩ませていましたが、「園児の部」23点、「小学生の部」28点が出されました。次回もたくさんの力作をお待ちしております！



園児の部



八幡保育園
篠原 咲さん

小学生低・中学年の部



戸倉小学校
丸山 泰佑さん

小学生高学年の部



五加小学校
久保 仁奈さん

最

最優秀賞



八幡保育園 長谷川 結希愛さん



坂城小学校 澤崎 琉音さん



南条小学校 滝沢 佳甫さん

優

優秀賞



さゆり幼稚園 上田 栞楠さん



坂城小学校 高橋 愛虎さん



五加小学校 岡田 梨花さん

※最優秀賞……消防長賞
優秀賞……千曲坂城危険物防火管理協会長賞(上段)
千曲坂城幼少年婦人防火委員会長賞(下段)

令和8年3月1日～7日は 「春の全国火災予防運動」週間です

令和7年11月13日(木)秋の火災予防運動の一環として、管内3事業所(社会医療法人大西会千曲中央病院様、医療法人長野寿光会上山田病院様、坂城保育園様)より職員を派遣していただき、「一日消防士」を任命しました。



任命式後、管内の商業施設や保育園などを訪問し、地域の皆様に広く火災予防と住宅用火災警報器の設置等について呼びかけていただきました。



第53回全国消防救助技術大会及び 第53回消防救助技術大会 関東地区指導会に出場しました

陸上の部

「ほふく救出」



水上の部

「溺者搬送」



令和7年6月14日(土)、長野県消防学校(長野市)において、「第43回長野県消防救助技術大会」が開催され、県下13消防本部から多くの隊員が各種訓練(種目)に挑みました。当本部から出場した陸上の部「ほふく救出 A チーム(3名)」と水上の部「溺者搬送(2名)」が好成績を収めました。

長野県消防救助技術大会で優勝した「溺者搬送」の隊員は7月18日(金)神奈川県で開催された「第53回消防救助技術大会 関東地区指導会」に出場。同じく優勝した「ほふく救出」の隊員は8月30日(土)に兵庫県で開催された「第53回全国消防救助技術大会」に出場。それぞれ日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、全国大会に出場した「ほふく救出」は全51チーム中6番目の成績を収めました。

消防フェスティバル 2025

令和7年11月8日(土)千曲坂城消防本部にて、「消防フェスティバル 2025」が開催されました。

このイベントは地域住民及び児童等を対象に消防・防災の体験型イベントを通じて、防火・防災の普及活動と消防行政への理解を深めることを目的に開催しました。

当日は、500人を超える来場者が訪れ、救助隊員による訓練展示を行ったほか、消防車両展示、はしご車搭乗体験、救助体験、放水体験、子ども用消防服体験、AEDを活用した応急手当体験などのコーナーを設け、笑顔あふれる大盛況なイベントとなりました。

今後も地域住民の方々に対する啓発活動を実施してまいります。





ラピッド・ドクターカー試験運用に関する連携を開始



長野市民病院(外観)

更なる救命率向上を目指して ラピッド・ドクターカーの 運用が始まります



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital



千曲坂城消防
Chikuma Sakaki Fire Dept

※車両画像はイメージです

千曲坂城消防本部は、3月下旬より長野市民病院と連携し、救急活動におけるラピッド・ドクターカーの試験運用を開始します。

将来的な協定締結を見据えたこの取り組みにより、救命率の向上や後遺症の軽減など、地域医療の充実に大きな役割を果たすことが期待されます。

『ラピッド・ドクターカー』とは...

医師、看護師、救急救命士などが救急現場に出動する際に使用する緊急自動車のことです。

緊急度の高い患者さんを、早期に医師の管理下において、救急現場から病院到着までに医療行為を行うことで、決定的治療までの時間短縮、救急隊では実施不可能な高度な医療提供、診療方針の前倒しが可能になります。



※検証が開始される詳しい日時については事前に千曲坂城消防本部ホームページでお知らせします。



令和8年度救命講習会日程



【普通救命講習Ⅰ又はⅡ】

成人に対する心肺蘇生法・AEDの使用法などを学びます

開催年月日		開催場所	時間
令和8年	4月9日(木)	千曲坂城消防本部 2階会議室	8:30～12:30
	6月9日(火)		
	8月9日(日)		
	10月9日(金)		
	12月9日(水)		
令和9年	2月9日(火)		

※普通救命講習Ⅰは3時間、普通救命講習Ⅱは4時間となります。
※定員5名に満たない場合は中止します。

成人の心肺蘇生法を
学びたいッ

【上級救命講習】

心肺蘇生法、AED、外傷の手当、搬送法、傷病者管理法などを学びます

開催年月日		開催場所	時間
令和8年	7月20日(月)	千曲坂城消防本部 2階会議室	8:00～17:00

※定員が3名に満たない場合は中止します。

もっともっと
色々学びたいッ

【応急手当普及員講習Ⅰ】

救命に必要な知識、実技、指導要領などを学びます

開催年月日		開催場所	時間
令和9年	1月8日(金)	千曲坂城消防本部 2階会議室	各日とも 8:30～17:30
	15日(金)		
	22日(金)		

*講習時間：3日間（上記日程全ての受講が必要です）
*テキスト代：@3,600円＋消費税が必要です。（予定）

職場で心肺蘇生法を
指導したいッ

【普通救命講習Ⅲ】

小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法、AEDの使用法などを学びます

開催年月日		開催場所	時間
令和8年	5月17日(日)	千曲坂城消防本部 2階会議室	9:00～12:00
	11月8日(日)		

※定員が3名に満たない場合は中止します。

子どもの心肺蘇生法を
学びたいッ

【応急手当普及員再講習】

応急手当普及員講習Ⅰを修了後3年以内に受講してください

開催年月日		開催場所	時間
令和8年	8月21日(金)	千曲坂城消防本部 2階会議室	9:00～12:00
	12月11日(金)		

普及員修了から
3年以内ッ

※開催日の5日前に募集を締め切ります。

令和8年1月1日「林野火災注意報」と「林野火災警報」の運用を開始しました

■ 経緯

令和7年の大船渡市の大規模山林火災をはじめ、大規模な林野火災が多発し甚大な被害が発生した教訓から、林野火災への警戒を強化するために「林野火災注意報」と「林野火災警報」の運用が始まることとなりました。

発令した場合、防災行政無線や消防車両巡回等により、住民への周知、警戒パトロール、広報等を実施します。

また、火の使用制限に違反した者に対して、「30万円以下の罰金又は拘留」に処することが、消防法で定められています。

■ **林野火災注意報**：火の使用制限は「努力義務」が課せられます。

林野火災予防上で「注意」を要する気象条件となった場合に「林野火災注意報」を発令します。

【林野火災注意報の発令指標】：次のいずれかに該当した場合

- (1) 前3日間の合計降水量が1mm以下、かつ、前30日間の合計降水量が30mm以下のとき
- (2) 前3日間の合計降水量が1mm以下、かつ、乾燥注意報が発表されたとき

■ **林野火災警報**：火の使用制限は「義務（罰則あり）」が課せられます。

林野火災予防上で「危険」な気象条件となった場合に「林野火災警報」を発令します。

【林野火災警報の発令指標】：林野火災注意報に加え、強風注意報が発表された場合

■ 「林野火災注意報」「林野火災警報」が発令された場合の「火の使用制限」について

火災予防条例第29条の規定により、次の「火の使用制限」が課せられます。

- (1) 山林、原野等において火入れをしないこと。
- (2) 煙火を消費しないこと。
- (3) 屋外において火遊び又はたき火をしないこと。
- (4) 屋外においては、引火性又は爆発性の物品その他の可燃物の付近で喫煙をしないこと。
- (5) 山林、原野等の場所で、火災が発生するおそれが大であると認めて消防組管理者が指定した区域内において喫煙をしないこと。
- (6) 残火（たばこの吸殻を含む。）、取灰又は火粉を始末すること。

新職員紹介

令和7年度に消防吏員の拝命を受けた5名です。長野県消防学校で初任科、救急科の課程を修了後に消防活動の最前線で活躍します。



町田 絃季
所属：坂城消防署



水井 彩夏
所属：戸倉上山田消防署



関 海翔
所属：坂城消防署



東風谷 崇太
所属：戸倉上山田消防署



満木 悠斗
所属：坂城消防署

2025年は、台風や大雨、地震など、自然災害について考える場面が多かった。被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一方で、困ったときに声を掛け合い、支え合う日本らしい温かな場面も多く見られました。

また今年は、日本のさまざまな分野で面白い話題がありました。スポーツや文化、地域のイベントなどを通じて、人と人がつながり、笑顔が広がる場面が多かったのではないのでしょうか。日常の中の小さな楽しみや前向きな出来事が、私たちの気持ちを支えてくれることを改めて感じました。

これからも消防は、地域の皆さんとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。明るい話題を大切にしながら、いざという時に備える気持ちも忘れず、毎日を通して生きていきたいと思います。

編集後記

令和7年火災・救急・救助

火災件数	31件 (-12)
救急件数	4,217件 (-143)
救助件数	28件 (-5)

* 救急件数は出動件数を示す * () 前年比